

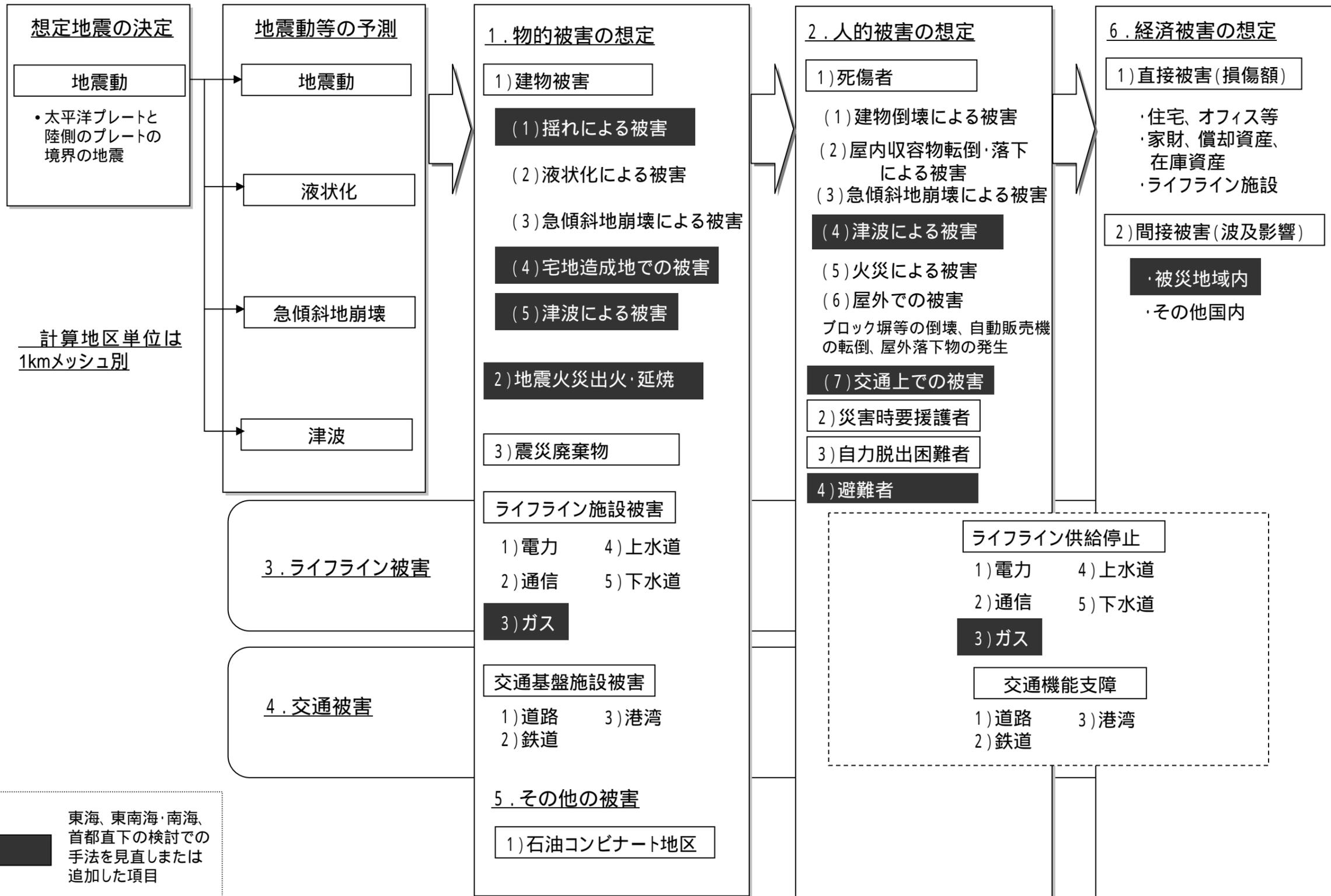
中央防災会議
「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」
第11回

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る被害想定の概要（案）

平成17年8月19日

中央防災会議事務局

被害波及の概要図(案)



津波被害シナリオ(時系列) (案)

- 陸域で震度6程度の強い揺れによる被害が発生し、数分～1時間以内に津波が到達する場合 -

地震発生、津波発生

沿岸域へ大きな波が到達

繰り返し津波到達

津波収束

地震動、液状化、急傾斜地崩壊

津波警報発令

沿岸域へ到達

陸域への遡上

波が引く

津波の追加情報

津波警報解除

救助・救援活動開始

物的被害機能支障

・建物が損壊()
・避難所が損壊()
・道路や鉄道が損壊()
・ライフライン施設(電気、ガス、水道、通信)が被災()

・瓦礫発生()
・ライフラインの供給停止や機能支障()
・道路の寸断()
・電車の脱線や停止()
・火災発生()
・警報により、交通機関やサービスの停止

沿岸域

・防潮堤・水門・陸こう等の損壊
・建物の浸水・倒壊
・臨海部の危険物施設等(石油コンビナート等)が被災
・コンテナ、自動車等が被災
・地盤が洗掘されて道路や鉄道が被災
・河川遡上により破壊力増大
・下水口などからの逆流
・地下街への浸水

・漂流物が建物等を損壊し、さらに漂流物が増加
・危険物の漏洩、備蓄燃料等の流出
・地下街の機能停止

・道路等に瓦礫が散乱
・危険物への引火、建物損壊によりさらなる出火

・火災発生、延焼拡大

海域

・船舶が被災
・養殖施設、貯木所が被災
・港湾・漁港が被災
・防波堤が被災
・農業用地が浸水

・漂流物が堤防等の海岸構造物を損壊、さらに漂流物が増加
・危険物の漏洩、オイルの流出
・流水が堤防等の海岸構造物を損壊(冬季)
・海上交通の機能支障

・船舶が座礁
・可燃物が海へ流出
・漂流物により港湾の機能停止

・海洋の汚染

人的被害行動支障

・意識の高い人は避難開始
・建物崩壊により屋内で多くの自力脱出困難者が発生()
・ブロック塀の崩壊等により屋外で自力脱出困難者が発生()
・電車内の閉じ込め等により自力脱出困難者が発生()

・津波警報により避難開始
・通信の断絶等により津波警報がなかった場合、避難をしない人が多数 死者がさらに多数発生
・交通規制が行われな

沿岸域

・海岸にいて避難できなかった人(海水浴客等)が被災

・逃げなかった人が被災
-意識の低い人が被災
・逃げられなかった人が被災
-自力脱出困難者
-自力脱出困難者を救出しようとして逃げられなかった人
-津波情報が得られない人(通信断絶、警報が理解困難な外国人等)
・逃げ遅れた人が被災

・第1波で助かった人が被災
-第1波より大きい波で被災
-家に戻った人が被災
・波にさらわれて行方不明者が発生

・津波に流された人の救助
・孤立した住民の救助

・道路や鉄道の寸断により集落が孤立()

海域

・漁港や港湾にいた船主や漁業関係者が被災

・海域にいた人(漁業関係者やサーフィン中の人等)が被災

地域条件

・到達が早く、避難に猶予のない地域の人
・急傾斜地で避難が困難な地域の人
・瓦礫が多く道路が閉鎖するなど避難が困難な地域の人()
・積雪や凍結の影響で避難が困難な地域の人(冬季)

滞留者特性

・高齢者、身体障害者、負傷者、その土地に不慣れな人

地域防災力

・避難所の整備が不十分な地域の人
・交通規制が不十分で危険地域に入ってしまった人
・車で逃げ道路渋滞に巻き込まれた人

()大きな揺れを伴わない津波地震の場合、この段階では、被害の発生は限定的。